

第1回  
東日本大震災復興支援  
リハビリテーション工学講習会 in 盛岡  
報告書



2013年2月2日(土)～3日(日)

於:国立大学法人 岩手大学



日本リハビリテーション工学協会

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会は、障害のある人の生活上の困難を「支援技術」と呼ぶ工学技術を活用して少しでも取り除く活動に取り組んでいます。

当協会では被災地域からの支援要請に応えることができるよう 2011 年 4 月 13 日に「東日本大震災復興支援に関する専門委員会」を設置し、協会HP上に震災復興支援関係の情報のアップロードを開始しました。2011 年度は、宮城県リハ支援センターよりリハ工学分野での支援要請を受け、宮城県名取市箱塚桜応急仮設住宅（箱塚桜団地）において住宅改修活動を行いました。

震災から 1 年半を過ぎましたが復興は遅々として進んでいない様子です。ともすれば記憶から遠ざかっていきそうな時期ですが、まだまだ忘れてはなりません。そのような状況に対しまして、2012 年度の活動のひとつとして、被災された方々の再出発のきっかけにつながればとの思いから、被災県でいくつかの SIG による講習会（研修会など）を開催する計画を立てました。①全国の参加者に復興状況と、まだまだの現状を見ていただく、②地元の関係者のみなさまに各 SIG が持っている情報を提供する、③全国からの参加者に被災地でお金を使っただく、などの効果を目的としております。

第 1 回は岩手県において、我々が専門的に取り組んでいる中から、7つの分野で講習会を開催することにしました。このイベントを通して、少しでも被災地の復興の一助になればと思っています。

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会  
会長 相良 二郎  
同 東日本大震災復興支援に関する専門委員会  
委員長 沖川 悦三

◆事業名称

第1回東日本大震災復興支援リハビリテーション工学講習会 in 盛岡 実施報告書

◆実施日

2013年2月2日(土)～3日(日)

◆会場

国立大学法人 岩手大学

◆主催

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会

◆共催

コミュニケーションSIG SIG姿勢保持 車いすSIG 特別支援教育SIG  
SIG住まいづくり 移乗機器SIG 義肢装具SIG

◆協賛(順不同)

株式会社プラッツ 日進医療器株式会社 有限会社 木村義肢工作研究所  
株式会社 今仙技術研究所 株式会社オーエックスエンジニアリング  
オットーボック・ジャパン株式会社 株式会社カワムラサイクル  
川村義肢株式会社・パシフィックサプライ株式会社 近鉄スマイルサプライ株式会社  
株式会社玄人 株式会社 タイカ 東名ブレース株式会社 株式会社766  
日本ウイール・チェアー株式会社 有限会社ハッピーおがわ  
パナソニック エイジフリーショップス株式会社 株式会社FORCE 深野栄子  
株式会社ミキ 株式会社 ミクニ 明電興産株式会社 株式会社モリトー  
株式会社 ユーキ・トレーディング NPO 法人横浜市福祉用具協会 吉野石膏販売株式会社

◆後援

国立大学法人 岩手大学

◆プログラム

1日目 2月2日(土)		2日目 2月3日(日)		
9:30～	受付:復興祈念銀河ホール(総合教育研究棟1F)		12 番講義室 13 番講義室	
10:00～ 10:10	開講式 会長挨拶:相良二郎 司会:沖川悦三(協会理事・神奈川県総合リハセンター)	09:00～ 10:20	⑤⑦コミュニケーション SIG 講師:井手将文(佐賀大学) 司会:渡辺崇史(日本福祉大学)	
10:10～ 10:40	基調講演「岩手大学における復興支援の取り組み」 西谷泰昭氏(岩手大学 工学部長) 座長:川村慶(協会理事・川村義肢株式会社) ◆感謝状贈呈		⑥SIG 住まいづくり 講師:相良二郎(神戸芸術工科大学)	
10:40～ 12:10	特別講演「～心のあかりが灯るとき～東日本大震災を経験して」 巴雅人(協会理事・有限会社車座) 座長:佐々木誠(岩手大学) ◆第28回リハ工学カンファレンス in いわたのアナウンス:実行委員長 米本清	10:30～ 11:50	⑧SIG 住まいづくり 講師:金井謙介(the Light on Design Project)	
12:10～13:10	お昼休み		11:50～12:50 お昼休み	
	12 番講義室	13 番講義室	12 番講義室 13 番講義室	
13:20～ 14:40	①車いす SIG 講師:松尾清美(佐賀大学) 司会:沖川悦三(神奈川県総合リハセンター)	②特別支援教育 SIG 講師:佐藤遼太郎(郡山市 太田西ノ内病院) 司会:高原光恵(鳴門教育大学)	12:50～ 14:10	⑨⑩SIG 姿勢保持 講師:金野千津(大船渡市 気仙苑) 繁成剛(東洋大学)
14:50～ 16:10	③車いす SIG 講師:小林博光(総合せき損センター)	④移乗機器 SIG 講師:山形茂生(別府リハビリテーションセンター)	14:20～ 15:50	川村龍子(特養百合ヶ丘苑) 鈴木聖貴(川村義肢)
			⑫義肢装具 SIG 講師:月城慶一(新潟医療福祉大学)	







沖川悦三 東日本大震災復興支援に関する専門委員会委員長



相良二郎 協会会長



基調講演 西谷泰昭氏



川村慶 協会理事



感謝状贈呈



特別講演 巴雅人



佐々木誠 現地責任者



米本清 第28回リハ工学カンファレンス実行委員長

## ◆プログラム概要

### ①「万一、歩けなくなっても大丈夫、車椅子を使った楽しい生活を伝えます！」

「身体機能と生活方法、そして住環境に応じた、車椅子での生活の基本動作」

#### ① 姿勢・②移乗・③移動

「車椅子での楽しい生活」

#### ④車椅子や電動車椅子で楽しんでいる事例や内容

車椅子での生活の基本動作として、①身体機能に応じて生活姿勢を得るための車椅子について、②ではベッドと車椅子間の移乗を中心としてトイレや浴室、自動車への移乗方法などについて伝達します。③では手駆動、足駆動、電動駆動という駆動方法を中心に伝達し個々の身体機能や移動方法での選択方法を伝達します。④ではスポーツやゲーム、散歩やスポーツ観戦、子供の成長の支援状況、仕事に結びつく車椅子、将来の車椅子などを私の生活も含みたくさんの事例を紹介したいと思います。



### ②「震災後の福島から考える ～追体験とニーズ想起～」

福島第一原発事故による被害は継続中であり、いまま二次的被害も含め全体像さえ把握されていない状況です。そのような中、復興支援活動の一環として、真の復興を目指すには何が足りないのか、一緒に福島の実状を知ることから始めてみませんか？

講師は、福島で生活を送る一市民でもあり、急性期リハビリテーションを担う病院で働く作業療法士でもある、佐藤遼太郎氏です。震災後の医療、避難生活に伴う生活様式やコミュニティの変化、放射線量と県民の生活、その自己認識の仕方など、震災時福島で何が起き、そして今何が起きているのかを追体験し、そこから見出される課題やニーズについて、参加型ワークショップを通して考えていきたいと思えます。





③「日用品を利用した備品用車いすの工夫とその限界」  
施設や病院などで大量に一括購入される、大きさや形がほぼ同一の『備品用車いす』は、体の形や身体機能に合わせて調整することが出来ないため、お年寄りや障がい者がしばらく座っていると、体がズレてきたり、痛みが生じたり、思うように動けなくなったりします。これが長期にわたると、褥瘡や嚥下障害、寝たきりや廃用症候群などを引き起こしかねません。

極めて短期間の利用以外では、この種の車いすを使わない方が良いのですが、緊急の場合や昨今の経済事情などから、やむを得ない状況も少なからずあるかと思えます。

しかし、そんな中でも、現場の知恵と努力により、車いすに対する様々な創意工夫がなされてきました。

今回は、姿勢を補正する工夫のための材料について、その利用の限界を踏まえながらお伝えしたいと思います。あくまでも一時的な対策であり、これを長期的に行くと予期せぬ事故が発生する恐れがあることはご承知おきください。



④「トランスファーボードとスライディングシートを利用した座位移乗・リフトとシートの選び方と使い方の紹介」

近年、本人の安全・安楽な移乗方法と介護者の腰痛予防が注目されています。生活を考えるとベッドから車椅子、車椅子からトイレ、車椅子からお風呂など、さまざまな移乗場面があり、毎日、繰り返し行われ腰痛の要因となっています。力任せや、無理な姿勢からの移乗介助は、本人に対して精神的な不安や苦痛を与えてしまう場合や、転倒の事故につながる危険性もあります。本人、介護者の両者が、安心・安全に移乗を行ってもらうためには、福祉用具などの導入が効果的な場合があります。

移乗機器 SIG では、トランスファーボードとスライディングシートを利用した座位移乗やリフトを使用した生活範囲の拡大を目指した移乗方法を提案したいと思います。



### ⑤⑦「みんなでワイワイ楽しく元気に過ごすために」

3軸加速度センサのついたリモコンやバランスボードを使うゲーム機 Wii は、リハビリテーション訓練や、デイサービスなどの現場で多く利用されていますが、車いすの方や転倒リスクのある方が楽しむのは困難との印象を持たれる方も多いようです。

転倒リスクのある高齢の方でも「安全に」、椅子に座って上肢の代わりに弱い足の動きで3軸加速度センサ付リモコンを操作し、飛行機を操縦して遊覧飛行を楽しんだり、ジョギングを楽しんだり、射的を楽しんだりできます。また、車いすの方も車いす上でのバランス動作で「それなりにワイルドに」、WiiFit のバランスゲームを楽しめます。

多くの方が一堂に集まってゲームをすると、みんなが応援したり競い合ったり、とても楽しい時間を過ごすことができます。

単なる身体訓練としての位置付けではなく、人々が集い楽しめるコミュニケーションの場を提供する道具として、これらを体験してみましょう！ 高齢者の皆さん、車いすの皆さんも大歓迎！



### ⑥「ユニバーサルデザインの視点からの仮設住宅と災害復興住宅の在りかた」

東日本大震災では5万戸を超える数の応急仮設住宅が建設されました。法の定めるところに従ってではあるのですが、多くの人にとって決して住み心地の良いものではありません。少しでも住みやすくする工夫について考えてみましょう。

また、これから災害復興住宅の建設が始まります。恒久住宅としてこれから長い年月にわたって使用されるこれらの住宅は、超高齢社会のニーズに答え得るものでなくてはならないでしょう。

これらの問題は、被災された方々にとっては現在進行形の話ですが、災害の多い我が国においては、被災地以外の人にとっても、いつ我が身に降りかかってくるか知れない話題です。

17年前の阪神・淡路大震災の経験をもとに、これら二つの住まいの在りかたについて一緒に考えてみたいと思います。





### ⑧「失敗しないための住まいづくりのポイント」

住まいは“生活の器”と言われる。それぞれの暮らしや生活行為の受け皿である住まいのあり方は、生活する人によってそれぞれ異なります。高齢者や障害のある人の住まいづくりにおいては、その身体機能に合わせた環境整備が主眼に行われますが、同時にその人の暮らしや生活観、置かれている状況などに配慮して進めなければ、せっかくの環境整備が生活の中に定着しないこともあります。また、支援者や施工者の関わり方によって住環境整備の満足度も大きく異なってきます。

そこで今回の講習会では、福祉用具や身体機能に合わせたトイレや浴室、移動空間等の住環境整備の基礎知識を学ぶとともに、失敗事例を通して住環境整備に関わる際に注意すべきポイントや生活を捉える視点など支援プロセスの重要性についてもご紹介します。どうすれば快適な暮らしを実現することができるのか、住まいづくりについて皆さんと一緒に考えていきたいと思います。



### ⑩基礎編「臨床で役に立つ義肢装具の基礎知識」

義肢装具ユーザーには日常生活でなくてはならない義肢装具。これらの用具が無いだけでユーザーの日常がどれくらい不自由になったのか！！

そもそも義手義足ってどのようなものでどんな種類があるの？義足はどうやって体重を支えているの？義足をはいている人はパラリンピック選手のようにみんな走れるの？など、義足についての基本的な疑問について解説します。

また、片麻痺で歩けなくなった時、リウマチなどで変形が強くなった時など、装具をつけることがあります。装具を付けるとどんなふうに便利になるのかな？最新の装具は、どんな機能を持っているのでしょうか？

その他、義肢装具を使用する際に気を付けなければならないこと、こんなものがあると便利なグッズ、などを紹介します。

医療現場で働いている方がユーザーさんへアドバイスする際に役に立つ80分です。



⑨⑩

「気仙地域でのリハビリテーション領域の支援活動」

「震災後の復興支援の取組み」

「ミニクリニック」

近年、様々なシーティング関連用具が販売され、選択されるようになりましたが、それは概ね姿勢保持あるいはシーティングの基礎に準じ、応用されているものになります。したがって、姿勢保持やシーティングの基礎を理解することにより、数多くのシーティング関連用具を理解し、選択することも可能となります。

SIG 姿勢保持の講習会では、臨床や介護の現場で姿勢保持やシーティングの技術を取り入れていただけるように、ポイントとなる情報を提供すると共に、姿勢保持パーツを実際に製作することによって、基本的な技術を開示いたします。姿勢保持の基本的な内容を紹介し、それぞれの現場で応用していくために、評価、計測、機器の選択、製作を行い、対象者と機器の適合をチェックしていきます。

実際の場面(計測評価→検討→製作・選択→適合評価→計測評価)を想定して、対象者の姿勢を評価することから始まり、その場で圧測定器やサーチュレーションモニター、座位のシミュレーターを用い、問題点を捉え、改善策を考え、実際の姿勢保持およびシーティングのポイントを視覚的に判りやすいように進める予定です。

①「気仙地域でのリハビリテーション領域の支援活動」: 金野千津氏

②「震災後の復興支援の取組み」: 繁成剛

③「ミニクリニック」: 繁成剛、川村龍子、鈴木聖貴  
姿勢を評価し、改善策を導きだし、手持ちの部材でその人に適したものを製作もしくはチョイスします。そして最後にまた評価していきます。



⑫応用編「最新の義足歩行一歩き方の違いを体験しよう」

模擬体験義足を実際に装着してみたり、わかりやすい教材を使ったりして、義足ソケットの内側やライナーや断端のことをわかりやすく説明します。

また近年、義足の高機能化、多様化が進んでいます。

ソケット、股継手、膝継手、足部などのパーツの多様化など、義足選択の可能性が大きく広がっています。

それに伴って、義足での歩き方も一通りではなくなってきました。

ソケットの違い、選択するパーツによって全く違う筋肉を使うこともあります。

そんな義足の最新の秘密(不思議)を説明します。



◆講師・スタッフ一覧

スタッフ	協会	相良二郎
スタッフ	協会	沖川悦三
スタッフ	協会	川村慶
スタッフ	協会	深野栄子
スタッフ	協会	巴雅人
講師・スタッフ	コミュニケーションSIG	井手将文
講師・スタッフ	コミュニケーションSIG	渡辺崇史
講師・スタッフ	SIG姿勢保持	繁成剛
講師・スタッフ	SIG姿勢保持	鈴木聖貴
講師・スタッフ	SIG姿勢保持	川村龍子
講師・スタッフ	SIG姿勢保持	金野千津 地元講師
講師・スタッフ	SIG姿勢保持	相馬正之 地元講師
講師・スタッフ	SIG姿勢保持	見木太郎 地元講師
講師・スタッフ	SIG姿勢保持	倉島周平 学生ボランティア
講師・スタッフ	SIG姿勢保持	高野英之 当事者モデル
講師・スタッフ	車いすSIG	松尾清美
講師・スタッフ	車いすSIG	小林博光
講師・スタッフ	特別支援教育SIG	佐藤遼太郎
講師・スタッフ	特別支援教育SIG	高原光恵
講師・スタッフ	SIG住まいづくり	相良二郎(再掲)
講師・スタッフ	SIG住まいづくり	金井謙介
講師・スタッフ	義肢装具SIG	森田千晶
講師・スタッフ	義肢装具SIG	川村慶(再掲)
講師・スタッフ	義肢装具SIG	月城慶一
講師・スタッフ	移乗機器SIG	山形茂生
講師・スタッフ	岩手大工学部長	西谷泰昭
講師・スタッフ	岩手大現地責任者	佐々木誠



◆参加者内訳

職種別

職種	人数
理学療法士	27
作業療法士	36
医師	
看護師	
保健師	
エンジニア	4
義肢装具士	
建築士	
製造・営業	11
介護支援専門員	
介護職	
介護福祉士	2
相談員	3
社会福祉士	
支援員	1
教員	4
その他	2
合計	90

都道府県別

北海道	0	信越	0	近畿	1	四国	0
		長野		滋賀		徳島	
東北	79	新潟		京都		香川	
青森	7			大阪	1	愛媛	
岩手★	51	北陸	0	兵庫		高知	
宮城	11	富山		奈良			
秋田	9	石川		和歌山		九州	0
山形		福井				福岡	
福島	1			中国	0	佐賀	
		東海	1	鳥取		長崎	
関東	9	岐阜		島根		熊本	
茨城	1	静岡	1	岡山		大分	
栃木		愛知		広島		宮崎	
群馬		三重		山口		鹿児島	
埼玉	1						
千葉	1					沖縄	
東京	4						
神奈川	2					合計	90
山梨							

講義別

	1日目 2月2日(土)				2日目 2月3日(日)				
	12番講義室		13番講義室		12番講義室		13番講義室		
					09:00~10:20	⑤	25	⑥	56
					10:30~11:50	⑦		⑧	56
13:20~14:40	①	75	②	12	12:50~14:10	⑨	60	⑩	20
14:40~16:00	③	60	④	27	14:20~15:50	⑪		⑫	18

◆アンケート結果

受講申込数：90名 当日受講者数 89名 回答数：63（回答率：70.8%）

1 職種および経験年数をお教えてください。

〈職種〉	回答数	経験年数					
		～5年 目	～10年 目	～15年 目	～20年 目	21年目 ～	未記入
理学療法士	21	10	6	2	1	1	1
作業療法士	23	8	11	1		3	
医師	0						
看護師							
保健師							
エンジニア	2	1			1		
義肢装具士							
建築士							
製造・営業	3	1		1	1		
介護支援専門員	3	1		2			
介護職	1	1					
介護福祉士	4	1	1	1	1		
相談員							
社会福祉士							
支援員							
教員	3	2		1			
その他	2		1	1			
未記入	1						1
合計	63						

2 日本リハビリテーション工学協会の協会員ですか？（該当するものを○で囲んでください）

ア. 協会員	4
イ. 非協会員	58
未記入	1
合計	63

3 何県からのご参加でしたか？

青森県	7
秋田県	8
岩手県	33
宮城県	7
埼玉県	1
東京都	2
神奈川県	2
静岡県	1
大阪府	1
未記入	1
合計	63

4 当協会では障害のある方のリハビリテーションを支援する機器や技術について、リハビリテーションに関係するさまざまな分野の参加者が互いに理解できる言葉で納得できるまで討論することを目的として、毎年1回リハ工学カンファレンスを開催しています。次回は 2013年8月22日(木)～24日(土)にいわて県民情報交流センター(アイーナ)にて開催の予定です。参加してみたいと思いますか？

ア. はい	42
イ. 何とも言えない	17
ウ. いいえ	2
未記入	2
合計	63

5 今回の講習会を何で知りましたか？

ア. 当協会のホームページ	12
イ. 当協会からのDM(開催案内)送付	32
ウ. ( )からのメールニュースおよび開催案内送付	6
OT協会研修会でのチラシ配布	2
秋田県PT士会	1
義肢装具SIG	1
車いすSIG	1
仙台ラボ	1
エ. その他	12
同僚から	5
紹介	3
未記入	4
未記入	1
合計	63

6 今回の講習会について

(1) 開催曜日はいかがでしたか？

ア. 土日でよい	51
イ. 週末(金土)がよい	2
ウ. 平日がよい	7
未記入	3
合計	63

(2) 開催日数(2日)はいかがでしたか？

ア. 短い	1
イ. ちょうどよい	54
ウ. 長い	4
未記入	4
合計	63



(3) どの講義を受講されましたか？

(4) 今度受講してみたい講義はありますか？

	①	②	③	④	⑤⑦	⑥	⑧	⑨⑪	⑩	⑫
①車いすSIG 「万一、歩けなくなっても大丈夫、車椅子を使った楽しい生活を伝えます！」	6	8								
②特別支援教育SIG 「震災後の福島から考える ～追体験とニーズ想起～」	4									
③車いすSIG 「日用品を利用した備用品車いすの工夫とその限界」			4	18						
④移乗機器SIG 「トランスファーボードとスライディングシートを利用した座位移乗・リフトとシートの選び方と使い方の紹介」		1	12	1						
⑤⑦コミュニケーションSIG 「みんなでワイワイ楽しく元気に過ごすために」					1	7	10			
⑥SIG住まいづくり 「ユニバーサルデザインの視点からの仮設住宅と災害復興住宅の在りかた」					14	3				
⑧SIG住まいづくり 「失敗しないための住まいづくりのポイント」					14		6			
⑨⑪SIG姿勢保持 「気仙地域でのリハビリテーション領域の支援活動」「震災後の復興支援の取り組み」「ミニクリニック」								3	22	21
⑩義肢装具SIG 基礎編「臨床で役に立つ義肢装具の基礎知識」								9	5	
⑫義肢装具SIG 応用編「最新の義足歩行－歩き方の違いを体験しよう－」								8		5
未記入						1	1	1		

8 今回の講習会のご意見・ご感想等ございましたら、ご自由にお書き下さい。

◆ありがとうございました。(2)
◆わかりやすい講師が多かった。参加してよかった。
◆椅子が硬くて辛かったです。自分のような初心者が来るのは場違いだったのかもしれませんが、とても難しかったです。楽しくわかりやすいところも多々ありました。
◆車いす、住まいづくりについて講習を受けさせていただきましたが、とても勉強になりました。機会があればぜひ次回も参加したいと思います。
◆楽しかったです。少人数で体験型の講義を受けることができ、身につけそうです。遠くは九州の方からおいでくださった先生方が多かったように思います。全国の皆さんと交流ができ、最前線の内容を学べて有難かったです。ありがとうございました。
◆先生方も気さくな方々だったので質問しやすい雰囲気でも良かったです。何回か姿勢保持や車椅子系の研修会に参加していますが、やはり症例検討などがあると参考にしやすいです。先生方の経験談がたくさんあると身近に感じやすく実践しやすいなと思います。ありがとうございました。
◆住まいづくりについて、と、姿勢保持について、臨床でみるポイントが学べて良かったです。
◆2日間様々なテーマで学ぶことができ、明日からの仕事に活かせるようにしたい。
◆ウレタンクッションや傘入れの袋で作るクッションなど、臨床で取り入れやすい工夫が多くてとても参考になりました。SIG住まいづくりでは、業者さんと利用者さんの声など、病院入院中にはわからないやり取りなどについて知ることができました。臨床でも今日学んだことをいろいろ試してみたいです。
◆短い時間のコマの中で各種の知見に触れられてとても有意義でした。もう少し時間があれば、深く内容を知れたかと思います。改めて別の機会でも勉強したいです。
◆あまりセラピストさんと同じセミナーを受ける機会がありません。このような機会でも普段紹介できないものの情報交換していきたいです。
◆住まいづくりについては他でも話を聞く機会がなく勉強になりました。
◆岩手で企画していただきありがとうございました。
◆今後役に立てられそうな内容でした。職場に戻り、参加できなかった職員へ伝えようと思います。
◆選択式の講義は初めてで、どちらの講義を受けるか迷いながら楽しく受講できました。
◆とても楽しい講義でした。
◆基本的なことから学ぶ機会となり見直しになりました。ありがとうございました。
◆1つ1つもう少し突っ込んだ部分までほしかったが時間が短い為。
◆東日本大震災について忘れてはならないことは、みなさん繰り返しお話しされているように感じた。忘れてはいけないこと、これからできること、次につながることを、たくさんお話をきかせていただきありがとうございました。教員として今回参加させていただき、これから学校に戻ってすぐできること、教員に伝えられることがたくさん得ることができました。
◆とても有意義な2日間になりました。特に巴様のお話と金井様のお話はおもしろかったです。また、姿勢保持の評価や目の前での製作はとても参考になりました。高野様のモデルもありがとうございます。難なく移乗される姿が格好いいと思いました。
◆一度の講習会で複数のSIGを受講できるのがよかった。自分は車いすSIGのみ所属しているので、他分野の話が聞けるのがとても参考になった。
◆大震災のことについてテレビを見たり聞いたりしたことがなかったことを今回の勉強会で実際に話を聞いて、また改めて震災の大変さが伝わりました。また、当事者の方の勉強会は説得力がありました…ありがとうございました。
◆一般的な概論が多く、時間的にはもう少し詳しく説明等が入るとより臨床で活用できると思う。内容に対する時間割が少し短く感じた。目新しいものを知ることができたことはよかった。
◆初めて参加させていただきましたが、目からウロコ！のお話ばかりでした！福祉機器や住環境のところは、それこそ制度ありき、環境ありきで今まで動いてきたことが多く、本当に相手の方や家族のみなさんがどこにニーズをおいているかをもっとしっかり聴取して連携していくことの大切さを学ばせていただきました。青森に持ち帰って、もっと新しい機器を広げていかなければと思いました。巴先生の講演も感動しました。
◆今回の講習会で最も印象的だったのは、両まひ、四肢まひの方でも、車椅子環境や住環境の整備次第で活動の幅を外に広げていくことができているということでした。そしてその方法もいくつか知ることができたので今後の臨床場面で役立てていきます。

- ◆今回の講習会で最も印象的だったのは、両まひ、四肢まひの方でも、車椅子環境や住環境の整備次第で活動の幅を外に広げていくことができているということでした。そしてその方法もいくつか知ることができたので今後の臨床場面で役立てていきます。
- ◆また参加してみたいです。
- ◆教室がとても寒くて大変でしたが、とても楽しかったです。物の新情報が知れて有意義でした。
- ◆③では傘袋を利用したシーティング以外にもバリエーションをもっていろいろな方法を伺いたかったのが残念でした。介護士と一緒に連れてきたがパワーポイントの組織、チームの中に名が入っていないことがあって残念でした。大きな仲間と一緒に勉強して力になってもらいたいと思っているので、次期はぜひ入れてもらいたいと思います。
- ◆巴先生と松尾先生の講演がとても楽しく聞くことができました。また機会があればお会いしたいです。
- ◆楽しく受講でき勉強できました。ありがとうございます。定期的に参加させていただきたいと思います。
- ◆多才な講師のお話で楽しくこれからの仕事に役に立てそうでした。ありがとうございました。
- ◆視野が広がりとても楽しい講習会でした。
- ◆震災関連に始まり、広範な課題が理解でき大変なためになった。今後も参加したい。
- ◆リハ工、SIGの雰囲気を知れてよかったです。
- ◆様々、普段聞けない話やデモンストレーションを見させていただき大変勉強になりました。また参加させていただきたいと思います。ありがとうございました。
- ◆とても有意義な研修で勉強になりました。ありがとうございました。
- ◆大変勉強になりました。昨年からは義肢装具SIGに参加させていただいていますが、他のSIGにも参加したくなりました。
- ◆楽しく勉強させていただきました。また参加したいです。
- ◆どの講義もとても興味深く、また講師の方々がお話上手でとても楽しく聴講できました。協会やSIGのことも全く知らないまま参加して、おもしろそうだなと思いました。どの講義ももっと長く詳しく聴いてみたいと思いましたが、何日も続けて休みをもらうのは難しいので、これくらいの期間と内容で仕方ないのかなと思いました。また機会があったら積極的に近場の会場で開かれる講習会に参加していきたいです。

最後に・・・今回の講習会を採点すると100点満点で何点ですか？

150点	1
100点	16
95～99点	4
90～94点	7
85～89点	3
80～84点	16
75～79点	
70～74点	3
65～69点	1
60～64点	1
55～59点	
50～54点	1
未記入	10





松田靖史 松田すみれ えつみ 義肢装具士の慶 いさぼう だあー  
 さとちゃん じゃり〜ずの煌 Takahara 車いすのみっちゃん JIRO  
 K.KANAI Sora M. おくんちゃん 辻清張 しずか 松尾清美  
 てっし〜 ブーブー NOBU 淡野義長 菅野 車いす SIG

Y-177755 F1+1 Bフルカラー W( )cm % Dsmori



Y-177755 F1+1 Bフルカラー W( )cm % Dsmori



Y-177755 F1+1 Bフルカラー W( )cm % Dsmori



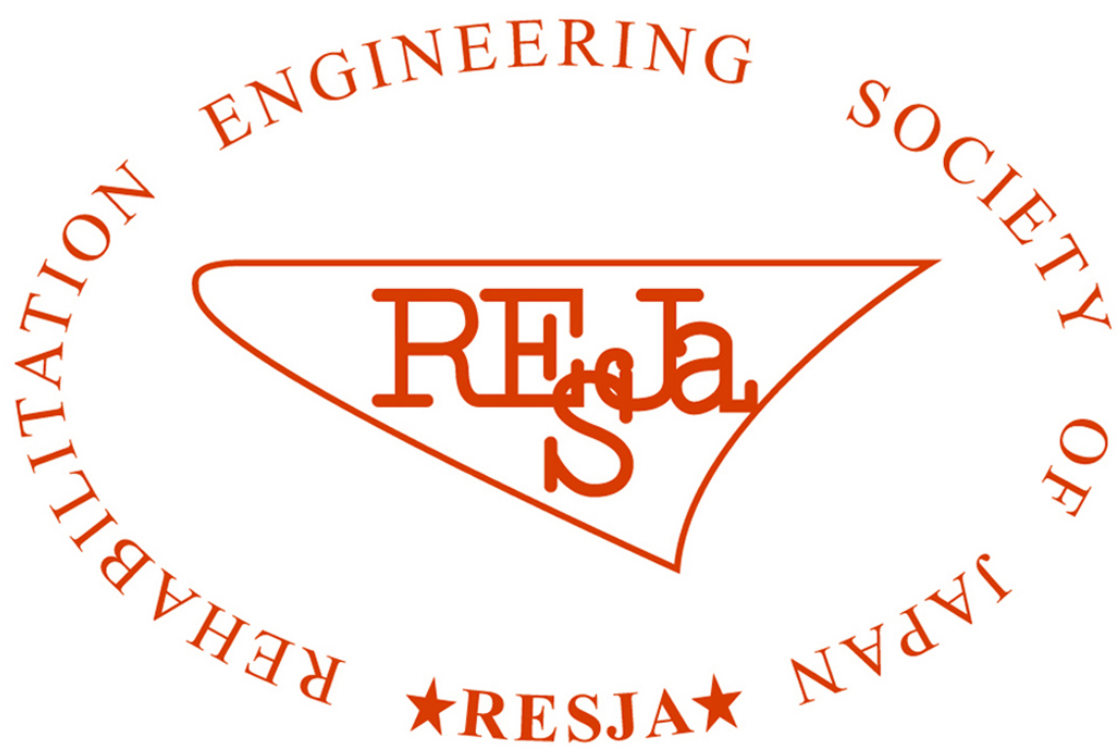
報告書作成

2013年3月1日

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会事務局

235-0033 神奈川県横浜市磯子区杉田 2-7-20

TEL : 045-353-8365      FAX : 045-353-8366



日本リハビリテーション工学協会